

会 議 録

会議の名称	平成30年度所沢市自立支援協議会 第1回定例会
開催日時	平成30年5月21日(月) 午後2時00分から4時00分
開催場所	所沢市役所6階604会議室
出席者の氏名	<p>会 長 鈴木 喜代子 副会長 谷田 悦男          委 員 北 敦夫、 小林 ヒデ子、 三枝 将史          服部 万理子、 宮武 奈津、 後藤 かほり          楠田 房雄、 綾部 美由紀、 野崎 裕子          加木屋 小夜里、 笛木 由美、 鈴木 恭子          櫻場 敬子、 青木 咲奈枝、 後呂 由紀子          小野寺 耕二、 沼倉 二美子、 篠崎 雅江          飯野 里美</p>
欠席者の氏名	委 員 豊田 淳一、大門 竜司、小池 真理子、鈴木 芙実
議事	<p>1 平成29年度各部会活動報告          2 平成30年度各部会活動方針          3 平成29年度所沢市相談支援事業委託事業所の事業報告          4 その他</p>
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 次第</li> <li>・ 所沢市自立支援協議会委員名簿</li> <li>・ 各部会活動報告書、年間活動計画書(資料1)</li> <li>・ 相談支援事業実績報告書(資料2)</li> </ul>
担当部課名	<p>事務局 福祉部障害福祉課 課 長 森田 悟          福祉部障害福祉課 副主幹 松井 優子          福祉部障害福祉課 主 査 長谷川 康則          福祉部障害福祉課 主 任 山田 翔太          福祉部障害福祉課 主 任 星野 啓          福祉部障害福祉課 主 事 林 真琴          こども未来部こども福祉課 課 長 小川 和彦          こども未来部こども福祉課 副主幹 廣谷 貴紀          こども未来部こども福祉課 副主幹 岩雲 美香          保健センター健康管理課 主 幹 山崎 英雄          保健センター健康管理課 主 査 小野寺 健          所沢市基幹相談支援センター 小内 正秋 相談員          福祉部障害福祉課 04-2998-9116</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
	1 開会
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 課長あいさつ</li> <li>・ 協議会に関して、会議は所沢市情報公開条例第25条により原則公開であること、会議録の記載方法については要約方式をとること、発言者名の記載については省略とすること、会議録は議長の承認をもって確定とすることの確認。</li> </ul>
会 長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 会長あいさつ</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 委員の変更について 所沢公共職業安定所、所沢児童相談所</li> </ul>
会 長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 傍聴希望者数の確認。（傍聴希望者2名）</li> </ul>
	1 平成29年度各部会活動報告について 2 平成30年度各部会活動計画について
委 員 （各部会長）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各部会長から資料1のとおり説明。</li> </ul>
委 員 （こども部会）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事例検討会にはできるだけ多くの職員が参加すべきと思い、事業所の非常勤職員にも出席してもらった。自分だけでは見えなかった気づきを得ることができた。</li> <li>・ 医療的ケア児は地区担当の保健師がケースワークを行っている。今後、現場と個々のサービス提供者が顔を合わせて話し合える場を持つことになっているので、情報共有や連携にいっそう期待している。</li> </ul>
委 員 （こころ部会）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 精神障害者に関する課題は単身者の増加、障害への理解不足であり、制度だけでまかなえない部分が多い。24時間365日の支援体制も困難だが必要であるため、対策を考えていきたい。交換研修会は今年3年目。他事業所を見て自分の事業所を振り返るよいきっかけとなった。より効果的な研修にしていきたい。</li> <li>・ 高齢者の認知症問題は把握していたが、部会に参加して若年性も含め認知症と精神障害の関連を実感した。地域包括支援センターとの連携等、情報交換の中でも高齢者支援課として協力していきたい。</li> </ul>
委 員 （くらし部会）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個々の障害に対する理解促進の困難さを感じている。</li> <li>・ 防災訓練に障害者が参加できるような方法を考えたい。</li> <li>・ 障害理解ハンドブックを作成し、一般市民や事業者に対して周知を進めたい。くらし部会で防災研修として机上訓練を行っていただき、地域課題として取り上げてもらえるようになってきたと感じている。</li> <li>・ 地域生活支援拠点に関する研修の中で、「整備されたモデル地域の取組を、そのまま取り入れるのではなく所沢市の実</li> </ul>

	<p>情を考えて整備する必要がある。そのためには地域を動かす人材が重要である」という言葉が印象的で、自分を含めた人材育成の大切さを実感した。差別解消については、支援員自身がまず理解を深めるべきである。法人内で差別解消研修開催のパイプ役になっていきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職場や地域に差別解消法を啓発する方法を考える機会となった。地域の障害者がどこに住んでいてどのような支援を求めているのかが見えにくいことが課題。</li> </ul>
委員 (しごと部会)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4年前と比べて委員以外の参加者が増えてきており、近くの事業所とコミュニケーションをとれるようになった。しごと部会だけでなく、他に関わりのある部会にもできるだけ参加したい。</li> <li>・ 様々な事例を通して情報共有ができた。障害者を雇用する企業も参加しているので企業視点の意見を聞くことができ勉強になった。部署内で会議内容を報告し、問題提起や課題整理をすることができた。就労定着支援事業についても会議の中で考えていきたい。</li> <li>・ 昨年度は参加者でチームを作成して情報共有や協議を行ったので、年度末にはさらに課題を明確化させたい。就労移行支援事業所が増えてきた。アセスメントや支給決定、工賃アップの課題を整理し、適切な仕組みを考えていきたい。障害者が仕事の中で少しずつステップアップし、地域でいかに活躍していけるか、部会を通じて話し合いが必要。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 共生社会に向けて、所沢地区で「金山食堂 誰でもランチ会」を2月から月1回開催している。地域での居場所づくりを目的とし、皆で調理・食事をする。これまで身体障害者、精神障害者、単身の高齢者等様々な方に参加していただいているので、是非相談者等に紹介して欲しい。</li> </ul>
	3 平成29年度所沢市相談支援事業委託事業所の事業報告について
委員 (各委託相談支援事業所)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ さぼっと、しあわせの里、ぼぷり、所沢どんぐり、ところざわ障害者相談支援センターの順で各事業所の相談員から資料2に沿って説明。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 報告内の障害種別利用者数は、計画相談と委託相談の合計ということでよろしいか。</li> </ul>
委員 (委託相談支援事業所)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ そのとおりである。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 介護保険サービスへの移行について、障害福祉サービスと同様のサービスは介護保険が優先となる。移行の際に問題</li> </ul>

	<p>となっているのが、一定割合の負担金の発生、サービス提供時間の減少である。同様のサービスを介護保険から受けられない場合もあり、不足分を障害福祉で補う必要がある。今後、市はどのように対応していくのか。</p>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 不足するサービスについては、障害福祉サービスで提供できるか相談して欲しい。今後も国の動向を注視していく。</li> <li>・ 利用料については法改正により補助を行う制度が始まっている。現在関係各課で調整を行っており、4月分まで遡って補助する予定である。</li> </ul>
	4 その他
副会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ こども部会には委員でない各特別支援学校のコーディネーターにも参加していただいております。教員向けの研修もできている。改定された学習指導要領では、学校の事業計画を展開するにあたり地域資源との連携が求められている。新たな要領では、「個別の教育支援計画・指導計画」の作成は特別支援学校だけでなく特別支援学級と通級指導にも求められている。引き続き学校を含めた地域のネットワーク作りを強化していきたい。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第4次障害者支援計画の策定報告</li> <li>・ 障害のある人もない人も共に生きる社会づくり条例の制定報告</li> <li>・ 上記条例に伴うシンポジウムの開催について</li> </ul>
副会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 閉会挨拶</li> </ul>
	閉会